

資料5 - 2

第1次地域戦略に基づくこれまでの取組

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
普及啓発	自然環境調査員会議による自然観察・体験イベントの開催	全2回 参加者数 34名 ・自然観察会(テーマ:浅間山) ・緑化講習会「身近な木の実や木の葉でリースを作ろう」 自然観察会(テーマ:浅間山)は3回予定のうち2回雨天中止	全4回 参加者数 85名 ・自然観察ウォーキングツアー「多摩川」 同「名木といききの道」 同「多摩霊園と武蔵野の森プロムナード」 ・緑化講習会「身近な木の実や木の葉でリースを作ろう」	全3回 参加者数 76名 ・自然観察ウォーキングツアー「多摩川レンリソウ」 ・自然観察親子ウォーキングツアー「浅間山」 ・緑化講習会「身近な木の実や木の葉でリースを作ろう」	
	府中水辺の楽校事業	全9回 参加児童数 805名 ・多摩川ガサガサ魚取り ・源流体験教室(山梨県小菅村) ・河口観察会(川崎市大師) ・石ころウォッチング ほか	全10回 参加児童数 889名 ・多摩川ガサガサ魚取り ・源流体験教室(山梨県小菅村) ・河口観察会(川崎市大師) ・石ころウォッチング ほか	全7回 参加児童数 437名 ・多摩川ガサガサ魚取り ・河口観察会(川崎市大師) ・石ころウォッチングと野鳥観察 ほか	
	自然観察、自然体験、環境教育イベントの開催	市立小学校「総合的な学習の時間」支援 (府中水辺の楽校) 市内5校 全12回 参加児童数 1,040名 ・多摩川と河川敷の動植物観察など (自然環境調査員会議) 武蔵台小 全2回 参加児童 5年生全員 ・武蔵台緑地の清掃 ・緑地保全啓発看板の設置	(府中水辺の楽校) 市内5校 全11回 参加児童数 851名 ・多摩川と河川敷の動植物観察など (自然環境調査員会議) 武蔵台小 全2回 参加児童 5年生全員 ・武蔵台緑地の清掃 ・緑地保全啓発看板の設置	(府中水辺の楽校) 市内2校 全6回 参加児童数 531名 ・多摩川と河川敷の動植物観察など (自然環境調査員会議) 武蔵台小 全2回 参加児童 5年生全員 ・武蔵台緑地の清掃 ・緑地保全啓発看板の設置	
	自然環境学習会(講演会)の開催	全2回 参加者数 58名 ・テーマ「身近な自然を通して生物多様性の大切さについて考える」 講師:東京農工大学 小池伸介講師(当時) ・テーマ「生物多様性地域戦略の『はじめの一步』」 講師:東京農工大学 吉川正人准教授	全2回 参加者数 48名 ・テーマ「ハゲから見る生物多様性」 講師:東京農工大学 齊藤 有里加特任助教(当時) ・テーマ「野生動物問題から生物多様性を考える」 講師:東京農工大学 小池 伸介准教授(当時)	全2回 参加者数 43名 ・テーマ「花蜂との蜜月」 講師:東京農工大学 井上 真紀講師(当時) ・テーマ「人と昆虫との深いつながり」 講師:東京農工大学 吉田 智弘助教(当時)	
	生物多様性情報の整備と公開	東京農工大学研究委託	研究題目:「府中市の生物多様性情報の整備」(市内の高等植物の目録作成) 研究担当者:東京農工大学 吉川 正人准教授	研究題目:「学校敷地の植物目録作成」(市立小学校18校敷地内の植物調査) 研究担当者:東京農工大学 吉川 正人准教授	研究題目:「学校敷地の植物目録作成」(市立小中学校9校敷地内の植物調査) 研究担当者:東京農工大学 吉川 正人准教授
		武蔵台緑地自然環境調査	自然環境調査員会議による植物・昆虫・野鳥の生息状況に関する毎月調査、年間報告書「府中の環境」及び市ホームページにて公開	自然環境調査員会議による植物・昆虫・野鳥の生息状況に関する毎月調査、年間報告書「府中の環境」及び市ホームページにて公開	自然環境調査員会議による植物・昆虫・野鳥の生息状況に関する毎月調査、年間報告書「府中の環境」及び市ホームページにて公開
		市民ボランティアによる多摩川河川敷動植物調査	植物調査(毎月)、年間報告書「府中の環境」にて公開 活動団体に対し傷害保険加入支援	植物・野鳥調査(毎月) 活動団体に対し傷害保険加入支援 年間報告書「府中の環境」にて公開	植物・野鳥調査(毎月) 活動団体に対し傷害保険加入支援 年間報告書「府中の環境」にて公開
		市民団体による西府崖線生態系調査(委託)		魚類及び水生生物調査(崖線下水)2日間 昆虫類調査 3日間 野鳥調査 1日間 年間報告書「府中の環境」にて公開	魚類及び水生生物調査(崖線下水)2日間 昆虫類調査 3日間 野鳥調査 1日間 年間報告書「府中の環境」にて公開
	生物多様性パネル展の開催	生物多様性及び生物多様性地域戦略に関するパネルを庁舎内に展示(平成27年12月18日~12月24日)	生物多様性及び生物多様性地域戦略、市内の生物多様性情報、各種調査結果などをパネル等により庁舎内に展示(平成28年5月27日~31日)	生物多様性及び生物多様性地域戦略、市内の生物多様性情報、各種調査結果などをパネル等により庁舎内に展示(平成29年5月22日~6月2日)	
	府中環境まつりPRブース出展	自然環境調査員会議による「鳥の巣箱づくり体験」や市の取組の紹介など	自然環境調査員会議による「鳥の巣箱づくり体験」「木の実細工づくり」や市の取組の紹介など	自然環境調査員会議による「鳥の巣箱づくり体験」「木の実細工づくり」や市の取組の紹介など	
水と緑のネットワークウォーキングマップの作成・頒布	市内の自然や歴史にふれられるウォーキングコースの紹介 年間頒布数:1,048部	市内の自然や歴史にふれられるウォーキングコースの紹介 年間頒布数:712部	市内の自然や歴史にふれられるウォーキングコースの紹介 年間頒布数:463部		
ホテルの飼育事業	羽化延べ確認数:0 多摩動物園による飼育技術指導	羽化延べ確認数:0 多摩動物園による飼育技術指導	羽化延べ確認数:約30匹(5/17~6/11)		
生息空間の保全	武蔵台緑地植生管理保全ガイドラインの作成と運用				
	外来生物対策	アライグマ・ハクビシン対策 箱わなの設置件数3件 捕獲(殺処分)頭数5件 設置と捕獲は年度をまたぐことがあるため一致しません。	箱わなの設置件数5件 捕獲(殺処分)頭数4件 設置と捕獲は年度をまたぐことがあるため一致しません。	箱わなの設置件数14件 捕獲(殺処分)頭数4件 設置と捕獲は年度をまたぐことがあるため一致しません。	
		多摩川河川敷アレチウリ駆除作業 ツバメの集団営巣地であったヨシ原周辺に繁茂するアレチウリの駆除作業を市民団体とともに実施	ツバメの集団営巣地であったヨシ原周辺に繁茂するアレチウリの駆除作業を市民団体とともに実施	ツバメの集団営巣地であったヨシ原周辺に繁茂するアレチウリの駆除作業を市民団体とともに実施	
	都立浅間山公園との連携	「浅間山を考える会」への参加、保全活動への職員派遣、イベント等広報協力等	「浅間山を考える会」への参加、保全活動への職員派遣、イベント等広報協力等	「浅間山を考える会」への参加、保全活動への職員派遣、イベント等広報協力等	
	多摩川河川敷レンリソウ保全活動				
	保存樹木制度	民有地の樹木保全のため指定樹木所有者に奨励金を交付 交付件数2,084本 樹林3か所 交付総額6,310,000円	民有地の樹木保全のため指定樹木所有者に奨励金を交付 交付件数2,088本 樹林3か所 交付総額6,340,000円	民有地の樹木保全のため指定樹木所有者に奨励金を交付 交付件数樹木2,074本 樹林3か所 交付総額6,290,000円	
農地保全	農政担当による農地振興施策	農政担当による農地振興施策	農政担当による農地振興施策		

資料5 - 2

第1次地域戦略に基づくこれまでの取組

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
普及啓発	自然環境調査員会議による自然観察・体験イベントの開催	全4回 参加者数 84名 ・自然観察ウォーキングツアー「多摩川レンリソウ」 同「キャンパスの緑を巡る道」 ・自然観察親子イベントin浅間山 ・緑化講習会「身近な木の実や木の葉でリースを作ろう」	全3回 参加者数 61名 ・自然観察ウォーキングツアー「多摩川レンリソウ」 ・自然観察親子イベントin府中の森公園 自然観察ウォーキングツアー「名木といききの道」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・緑化講習会「身近な木の実や木の葉でリースを作ろう」	全2回 参加者数 42名 ・自然観察ウォーキングツアー「名木といききの道～崖線の春を探そう」 ウォーキングツアー「西府の湧水と新田川緑道」及び親子自然観察会「府中の森公園」は緊急事態宣言発令に伴い中止 ・緑化講習会「身近な木の実や木の葉でリースを作ろう」	
	府中水辺の楽校事業	全6回 参加児童数 365名 ・多摩川ガサガサ魚取り ・源流体験教室（山梨県小菅村） ・河口観察会（川崎市大師） ほか	全5回 参加児童数 204名 ・多摩川ガサガサ魚取り ・源流体験教室（山梨県小菅村） ・河口観察会（川崎市大師） ・野鳥観察会 ほか	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全イベント開催中止	
	自然観察、自然体験、環境教育イベントの開催	（府中水辺の楽校） 市内2校 全8回 参加児童数 722名 ・多摩川と河川敷の動植物観察など （自然環境調査員会議） 武蔵台小 全2回 参加児童 5年生全員 ・武蔵台緑地の清掃 ・緑地保全啓発看板の設置	（府中水辺の楽校） 市内1校 全5回 参加児童数 318名 ・多摩川と河川敷の動植物観察など （自然環境調査員会議） 武蔵台小 全3回 参加児童 3年生全員 ・武蔵台緑地の植物・昆虫・野鳥観察 5年生授業は新型コロナウイルス対応により中止	（府中水辺の楽校） 市内1校 全2回 参加児童数 130名 ・多摩川と河川敷の動植物観察など （自然環境調査員会議） 武蔵台小 全2回 参加児童 3年生・5年生 ・武蔵台緑地の植物・昆虫観察 ・武蔵台緑地の清掃と逸出園芸植物の除去作業	
	自然環境学習会（講演会）の開催	全2回 参加者数 58名 ・テーマ「都市の生きものの生態」 講師：東京農工大学 吉田 智弘講師 ・テーマ「生物多様性ホットスポット浅間山」 講師：NPO Birth 金本 敦志氏	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	全1回 参加者数 26名 ・生物多様性講演会「となりの野生動物～僕たち都会志向です！？」 講師：東京農工大学 小池 伸介教授 生物多様性講演会「ヤマトスナハキバチが来た！」は緊急事態宣言発令に伴い中止	
	東京農工大学研究委託	研究題目：「小中学校の植物相に関する普及冊子の作成」（緑地管理や植物の教材利用に関する手引書「学校の緑づくり」を作成）研究担当者：東京農工大学 吉川 正人准教授	研究題目：「武蔵台公園管理指針（案）の作成」（武蔵台緑地植生管理ガイドラインの作成） 研究担当者：東京農工大学 吉川 正人准教授	研究題目：「市内多摩川堤防の植物相調査」（多摩川堤防の植生とその保全）研究担当者：東京農工大学 吉川 正人准教授	
	生物多様性情報の整備と公開	自然環境調査員会議による植物・昆虫・野鳥の生息状況に関する毎月調査、年間報告書「府中の環境」及び市ホームページにて公開	自然環境調査員会議による植物・昆虫・野鳥の生息状況に関する毎月調査、年間報告書「府中の環境」及び市ホームページにて公開	自然環境調査員会議による植物・昆虫・野鳥の生息状況に関する毎月調査、年間報告書「府中の環境」及び市ホームページにて公開	
	市民ボランティアによる多摩川河川敷動植物調査	植物・野鳥調査（毎月） 活動団体に対し傷害保険加入支援 年間報告書「府中の環境」にて公開	植物・野鳥調査（毎月） 活動団体に対し傷害保険加入支援 年間報告書「府中の環境」にて公開	植物・野鳥調査（毎月） 活動団体に対し傷害保険加入支援 年間報告書「府中の環境」にて公開	
	市民団体による西府崖線生態系調査（委託）	魚類及び水生生物調査（崖線下水）1日間 昆虫類調査 3日間 野鳥調査 1日間 年間報告書「府中の環境」にて公開	魚類及び水生生物調査（崖線下水）1日間 昆虫類調査 3日間 野鳥調査 1日間 年間報告書「府中の環境」にて公開	魚類及び水生生物調査（崖線下水）中止 昆虫類調査 1日間 野鳥調査 2日間 年間報告書「府中の環境」にて公開	
	生物多様性パネル展の開催	生物多様性及び生物多様性地域戦略、市内の生物多様性情報、各種調査結果などをパネル等により庁舎内に展示（平成30年5月21日～25日）	生物多様性及び生物多様性地域戦略、市内の生物多様性情報、各種調査結果などをパネル等により庁舎内に展示（令和元年5月22日～28日）	アライグマ・ハクビシン問題を特集したほか、生物多様性に関する情報や生物多様性地域戦略についてパネル等により庁舎内に展示（令和2年11月17日～24日）	
	府中環境まつりPRブース出展	自然環境調査員会議による「鳥の巣箱づくり体験」「木の実細工づくり」や市の取組の紹介など	自然環境調査員会議による「鳥の巣箱づくり体験」「木の実細工づくり」や市の取組の紹介など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
水と緑のネットワークウォーキングマップの作成・頒布	市内の自然や歴史にふれられるウォーキングコースの紹介 年間頒布数：805部	市内の自然や歴史にふれられるウォーキングコースの紹介 年間頒布数：694部	市内の自然や歴史にふれられるウォーキングコースの紹介 年間頒布数：515部		
ホテルの飼育事業	羽化延べ確認数：88匹（5/17～6/11）	羽化延べ確認数：99匹（5/13～6/18） ホテル羽化確認後、近隣市民向けにホテル飼育場を一般公開（15日間 来場者延べ213名）	羽化延べ確認数：110匹（5/7～6/5） 飼育場の一般公開は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
生息空間の保全	武蔵台緑地植生管理保全ガイドラインの作成と運用		市内を代表する自然環境を有しながら、これまで明確な目標をもった植生管理が行われてこなかった結果、生物多様性の低下が危ぶまれる武蔵台緑地について、多様な主体の参画により緑地本来の植生の維持・回復を図る保全活動を展開していくためのガイドラインを作成（東京農工大学研究委託 吉川正人准教授）	ガイドラインに基づき自然環境調査員会議、市民ボランティア、地元小学校との協働による保全作業を実施 ・笹刈り作業（年2回） ・逸出園芸植物（シャガ）除去作業 ・緑地の植生管理に関する現地学習会（講師：東京農工大学吉川准教授）	
	外来生物対策	アライグマ・ハクビシン対策 箱わなの設置件数13件 捕獲（殺処分）頭数9件 設置と捕獲は年度をまたぐことがあるため一致しません。	箱わなの設置件数23件 捕獲（殺処分）頭数11件 設置と捕獲は年度をまたぐことがあるため一致しません。	箱わなの設置件数38件 捕獲（殺処分）頭数10件 設置と捕獲は年度をまたぐことがあるため一致しません。	
		多摩川河川敷アレチウリ駆除作業	ツバメのねぐら保全活動へ移行	ツバメのねぐら保全活動へ移行	ツバメのねぐら保全活動へ移行
	都立浅間山公園との連携	「浅間山を考える会」への参加、保全活動への職員派遣、イベント等広報協力等	「浅間山を考える会」への参加、保全活動への職員派遣、イベント等広報協力等	「浅間山を考える会」への参加、保全活動への職員派遣、イベント等広報協力等	
	多摩川河川敷レンリソウ保全活動	レンリソウ自生地の保全活動支援（傷害保険の加入等）	レンリソウ自生地の保全活動支援（傷害保険の加入等）	・レンリソウ自生地の保全活動支援（傷害保険の加入、職員派遣等） ・東京農工大学による移植計画支援（移植地の調整等）	
	保存樹木制度	民有地の樹木保全のため指定樹木所有者に奨励金を交付 交付件数2,091本 樹林3か所 交付総額6,300,000円	民有地の樹木保全のため指定樹木所有者に奨励金を交付 交付件数2,076本 交付総額6,240,000円	民有地の樹木保全のため指定樹木所有者に奨励金を交付 交付件数2,029本 交付総額6,120,000円	
農地保全	農政担当による農地振興施策	農政担当による農地振興施策	農政担当による農地振興施策		